

農業・食品産業を専門とする報道媒体22社で組織する農林記者会は、2024年1月19日(金)に創立75周年記念講演会を開催します。

講演会では、京都大学人文科学研究所の藤原辰史准教授を講師に迎えます。「給食」を軸に食料や農業、農村を考える内容となっておりますので、農業・食品産業をはじめ、幅広い関係者のご参加をお待ちしております。



給食から考える 食と農の自治

京都大学人文科学研究所 藤原辰史 准教授



学校給食は、貧困対策や災害発生時の炊き出しなど教育の役割を超えた多様な機能を有しています。加えて、給食の供給には地域の農畜産物が必要となり、有機農畜産物を利用している地域もあります。「給食が農畜産業をつくる」機能が十分に発揮されることで、日本の農畜産業が明るくなる可能性を秘めていますが、給食に本気で取り組んでいる地域は少ないと考えられます。

本講演では、学校給食の歴史と現在を見てその可能性について考えるとともに、食事を通じた人と人のつながりのあり方など広く食の意味を問います。



[講師プロフィール]

1976年、北海道旭川市生まれ。1999年、京都大学総合人間学部卒業。京都大学人文科学研究所助手、東京大学農学生命科学研究科講師などを経て、現在、京都大学人文科学研究所准教授。博士(人間・環境学)。2019年2月には、第15回日本学術振興会賞受賞。

2024年1月19日(金) 14:00 (受付開始13:30)

[講演・質疑] 14:05-15:30

マリーグラン赤坂 東京都港区赤坂2丁目14-5 Daiwa 赤坂ビル

参加費 無料

申込み 下記のリンク又は右のQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/XHcYlwGrnB2xEumu6>

定員 150人程度(定員に達し次第、募集は終了させていただきます)

アクセス 千代田線赤坂駅2番出口徒歩約2分、銀座線・南北線溜池山王駅7番出口より徒歩約5分

参加費
無料

▼申込みフォーム

